

会 議 録

会議の名称及び会議の回	令和5年度 第3回飯田市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和5年11月21日（火） 午後4時00分から午後4時30分まで
開催場所	松尾浄化管理センター 2階 大会議室
出席委員氏名	下田一則、田中徹也、菅沼文秀、木下容子、水口芳昭、吉川哲史、玉置弘樹、澤口総八、鋤柄富男、池上ゆり子
欠席委員氏名	大澤幸子、熊谷貴美子、玉置節子
傍聴者	2人
出席事務局職員氏名	佐々木上下水道局長、柳澤水道課長、関島下水道課長、原下水浄化センター所長、村松経営管理課長補佐、筒井経営管理課長補佐、久保田水道課長補佐、菊池下水道課長補佐、竹村下水浄化センター所長補佐、吉地下水浄化施設長寿命化担当専門技査、加藤庶務係長、水質管理係大場主査
会議の概要	以下のとおり

「敬称略とする」

1 開 会

(加藤経営管理課庶務係長)

ただいまから、令和5年度第3回飯田市上下水道事業運営審議会を開催する。議事に入るまでの間、私が進行する。

2 会議の成立

(加藤経営管理課庶務係長)

本日、大澤幸子委員、熊谷貴美子委員、玉置節子委員から欠席する旨の届出があった。

飯田市上下水道事業運営審議会条例第6条の規定により、会議の成立には委員13人の過半数である7人の出席が必要である。本日の出席委員は10人であり、会は成立している。

3 理事者挨拶

(高田副市長)

本日は、上下水道事業運営審議会に大変お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

私は会議で出席できなかったが、会議に先立ち、浄化センターを見学いただいた。浄化センターは、飯田市の下水道事業の中の一番の肝であり、最終的に汚水を処理し、水質の管理をしている大事な施設である。ぜひ知り合いの方々に、どのような施設であったかを広めていただけたらありがたい。施設を見学いただくことで、上下水道事業の実態をご理解いただけたらありがたい。

審議会にて、水道料金の改定についてご答申いただいた際に、附帯意見をいただいた。その中でこれまでに取り組んできたことについて、報告させていただく。市民への広報について、10月15日に一般市民を対象として妙琴浄水場、松尾浄化管理センターの見学会を開催し、施設を巡りながら上下水道の現状や仕組みを説明させていただいた。それから、9月、10月の水道料金検針の折に、水道料金の改定のチラシを、全使用者に配布させていただいた。また、広報いいだ11月号にて、水道料金の改定を特集でお知らせをした。今後も引き続きこういった取組を続けて参りたいと考えている。

審議会、議会からもご意見を頂戴したが、非常に物価高騰が続いている中での負担軽減策について、これまで検討して参った。これについて、11月24日に議会が開会となるが、補正予算を提案させていただきたいと考えている。国の方でも経済対策として補正予算で地方交付金が措置されたが、それは弱者対策等の交付金であり、それとは別に飯田市民全世帯に対し、物価高騰への生活支援として支援金を予算計上させていただくよ

う議会に正式に提案するので、そちらをご確認いただけたらと思う。

これから水道事業、下水道事業について事業の説明をさせていただく。飯田市が進めているゼロカーボンについて、上下水道事業としてどのように取り組むかということ、本日の会議では説明させていただくので、ぜひご理解いただき、ご意見を賜りたい。どうぞよろしくお願ひしたい。

4 会長挨拶

(鋤柄会長)

本日は、お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。

今日は、会議が始まる前に浄化管理センターを見学させていただいた。前回の会議では妙琴浄水場を見学させていただいたということで、大変勉強になったと思う。これまでは机上で説明を受けたが、このように実際に設備を見ながら説明いただくと、よりその重要性、それから、飯田市の7割を占める汚水処理量を考えると、非常に大事な施設であると思う。何か災害があった場合に、この松尾竜水地区は浸水する場所である。先ほどの見学で、最後にポンプがあったが、本当に何かあった場合は、出ていかなければ大変である。もちろん上水道も大事であるが、下水道事業の重要性を我々も十分認識していかなければいけないと、今日改めて感じたところである。

先程の副市長のお話にもあったが、水道料金の改定についての広報をいろんな形で行っていただいている。チラシも届いているので、そういう意味ではかなり行っていただいていると思う。これからも引き続き行っていただけたらと思うが、重要な施設の更新は待たないでほしいので、その辺りも十分進めていただければと思う。

本日は、お忙しい中ではあるが、説明をお聞きいただき、忌憚なきご意見をいただきたい。よろしくお願ひしたい。

(加藤経営管理課庶務係長)

高田副市長は次の公務のため、ここで退席させていただきます。

(加藤経営管理課庶務係長)

議事に入るが、審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長を務めることになっているため、議長を鋤柄会長にお願いする。

5 公表用会議録において委員氏名を公開することの同意について

(鋤柄会長)

事務局から説明されたい。

(村松経営管理課長補佐)

本会議の発言の要旨の公表会議録への記載については、記載する内容についての発言をした委員の確認を得て行うものとする。

ただし、発言した委員の氏名については、会議に出席した委員全員の同意が得られた場合に限り記載するものとしているので、本日の会議録における発言委員の氏名の公開について同意いただけるか伺う。

(鋤柄会長)

ただ今説明があった氏名の公開についていかがか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

同意することとし、会議の内容の公開にあたっては、発言された委員の氏名も併せて公開することとする。

6 報告事項

(1) 上下水道事業について

(鋤柄会長)

上下水道事業について、事務局から説明されたい。

ア マイクロ水力発電事業について

(柳澤水道課長)

マイクロ水力発電事業について説明。

イ デマンドレスポンスについて

(柳澤水道課長、原下水浄化センター所長)

デマンドレスポンスについて説明。

ウ 電気自動車購入について

(原下水浄化センター所長)

電気自動車購入について説明。

エ 飯田都市計画下水道の変更（飯田市決定）について

(関島下水道課長)

飯田都市計画下水道の変更（飯田市決定）について説明。

(鋤柄会長)

ただいま上下水道事業について4つ説明を受けたが、皆さんからご意見、ご質問等あるか。

(吉川委員)

マイクロ水力発電事業について、今回場所貸しを民間の事業者にすることでマイクロ水力発電事業を行うということだが、民間ではなく、飯田市自体が発電事業者になる道もあったかと思う。あえて民間に任せたい理由を聞きたい。

(柳澤水道課長)

水道水を利用した水力発電は、非常に最近出てきた技術である。直接口に入る水ということで、今まで中々採用されてこなかった。ダイキン工業のDK-Powerという企業は、発電に使用する水車も水道の管と同じ検査によって塗装されているということ、小さい場所に設置できるコンパクト化がなされたということで、実績も全国にかなりある。非常に良いものであるということで、昨年からはDK-Powerと水道局で水道施設のどこに設置できるか検討をしてきた。今回2か所で発電できるということで、水道局と民間のDK-Powerと契約締結し、事業をしていこうと決まったというのが経過である。

(鋤柄会長)

吉川委員いかがか。

(吉川委員)

わかりました。

(鋤柄会長)

他にはいかがか。

(委員)

なし。

(鋤柄会長)

ただいま説明いただいた上下水道事業については、そのようなことをご承知おき願う。

7 その他

(1) 上下水道料金徴収等業務委託に係る公募型プロポーザルについて

(鋤柄会長)

上下水道料金徴収等業務委託に係る公募型プロポーザルについて、事務局から説明されたい。

(村松経営管理課長補佐)

上下水道料金徴収等業務委託に係る公募型プロポーザルについて、水道事業及び下水道事業では、事務の効率化、経費の抑制、お客様への安定した質の高いサービスの継続的な提供を行うことを目的に上下水道料金徴収等業務、具体的には、検針、受付等の窓口、開栓等の現地作業、収納といったお客様センターの業務を委託している。現在の業務委託契約が、令和6年9月で満了となるため、令和6年10月から5年間の受託者を決定する公募型プロポーザルを現在実施している。

プロポーザルでは参加希望の事業者から企画提案を受け、審査を行う審査委員会がある。この審査委員会に上下水道事業運営審議会の委員の中から1人参加いただきたいとの要請があり、会長と相談のうえ、菅沼委員に受けていただいたことを報告する。

(鋤柄会長)

ただいま事務局から説明があったこの会から審査委員会へ菅沼委員の参加について、皆さんよろしいか。ご承知おき願う。

(鋤柄会長)

その他、全体を通して委員の皆さんから何かあるか。

(委員)

なし。

(鋤柄会長)

市の方から何かあるか。

(佐々木局長)

本日はお忙しい中お集まりいただき、ご協議を賜り心より感謝を申し上げます。

今回の審議会では、市内最大である松尾浄化管理センターの流入水から放流までの様々な運転工程管理について実際に確認いただき、施設が清潔に運用されていることと、施設の規模感を感じていただけたかと思う。

また、全庁的に推進する2050ゼロカーボンシティ実現に向けた、上水道施設による水力発電、上下水道両事業による電力デマンドレスポンスについて、先ほど紹介した。デマンドレスポンスは、得られる利益はわずかだが、この運転管理の試行錯誤が、停電時のリスク対策であったり、今後の維持管理、運転管理の省力化への工夫に繋がっていくため、大変重要な事業として捉えている。

今後とも上下水道事業に深いご理解とご協力を願うとともに、委員の皆様におかれましては、お気付きの点などを、気軽に私共にお伝えいただければ幸いである。本日は誠にありがとうございました。

(鋤柄会長)

以上をもちまして、上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。